



平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月8日

上場会社名 鳥越製粉株式会社

上場取引所 東 福

コード番号 2009 URL <http://www.the-torigoe.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 鳥越 徹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 中川 龍二三

TEL 092-477-7112

四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	15,682	△12.6	1,424	△24.0	1,488	△22.4	797	△29.9
21年12月期第3四半期	17,944	—	1,873	—	1,918	—	1,136	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	30.66	—
21年12月期第3四半期	43.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	29,173	22,257	76.2	854.85
21年12月期	28,750	21,747	75.6	835.55

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 22,230百万円 21年12月期 21,722百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	—	—	11.00	11.00
22年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期 (予想)	—	—	—	11.00	11.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,100	△3.6	2,420	0.0	2,490	0.2	1,470	3.1	56.54

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、添付資料P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年12月期3Q 26,036,374株 21年12月期 26,036,374株

② 期末自己株式数 22年12月期3Q 31,373株 21年12月期 38,749株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 22年12月期3Q 25,998,264株 21年12月期3Q 25,928,364株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績予想等の将来に関する事項は、現時点で当社が入手している情報や合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は種々の要因により大きく異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. その他の情報	P. 3
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 7
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(5) セグメント情報	P. 9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、引き続き持ち直しつつあるものの、急激な円高やデフレ基調の継続、雇用環境の悪化等により、先行き景気が下押しされるリスクが強まっております。

製粉業界におきましては、本年4月から輸入小麦の政府売渡価格が引き下げられたことに伴い製品価格の値下げを実施するなど、経営環境は一段と厳しさを増しております。

このような状況の中にあつて当社グループは、中期経営計画「C&CフェーズⅡ」に基づく諸施策の実施に取り組むとともに、日本初のフランスパン専用小麦粉「フランス」印発売50周年を記念した各種販売促進キャンペーンの実施や「パン・菓子用米粉ミックス」をはじめ当社オリジナル商品の販売推進に努めるなど積極的な販売活動を展開しました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、製品価格の値下げの影響などにより、156億8千2百万円(前年同期比12.6%減)となりました。収益面におきましては、減収に加え物流費、IT投資関連費用をはじめとした諸経費が増加したことなどにより、経常利益は14億8千8百万円(前年同期比22.4%減)、四半期純利益は投資有価証券評価損の発生もあり7億9千7百万円(前年同期比29.9%減)となりました。部門別の状況は次のとおりです。

〔食品部門〕

①製粉については、フランスパン専用小麦粉の出荷は上伸しましたが、小麦粉全体の出荷が前年同期を若干下回ったことに加え、製品価格の値下げの影響もあり、売上高は77億6千1百万円(前年同期比17.7%減)となりました。

②食品については、「米粉ミックス」をはじめ当社オリジナル商品の販売推進に努めましたが、競争激化と製品価格の値下げの影響により、売上高は54億5千5百万円(前年同期比7.0%減)となりました。

③精麦については、新規開拓など積極的な営業活動を推進した結果、出荷は上伸しましたが、製品価格の値下げの影響を吸収できず、売上高は20億6千9百万円(前年同期比7.3%減)となりました。

〔飼料部門〕

出荷は上伸しましたが、販売価格の下落の影響を受け、売上高は3億1千9百万円(前年同期比8.1%減)となりました。

〔その他部門〕

売上高は7千6百万円(前年同期比14.4%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は291億7千3百万円となり、前連結会計年度末比4億2千3百万円増加しました。この主な要因は、国の食糧麦備蓄対策事業に対応する原料の購入により原材料及び貯蔵品が増加した一方、現金及び預金、受取手形及び売掛金などが減少したことによるものです。

また、負債合計は69億1千6百万円となり、前連結会計年度末比8千5百万円減少しました。この主な要因は、原料購入の増加に伴い支払手形及び買掛金が増加しましたが、借入金、未払法人税等、その他流動負債が減少したことによるものです。

純資産合計は222億5千7百万円となり、前連結会計年度末比5億9百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金が増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は115億6千万円となり、前連結会計年度末比7億9千6百万円増加しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、17億5千4百万円の収入となりました。この主な要因は、税金等調整前当期純利益の計上、売上債権の減少などにより資金が増加したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△3億6千1百万円となりました。この主な要因は、無形固定資産の取得による支出によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、△5億9千6百万円となりました。この主な要因は、配

当金の支払や長期借入金の返済などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

10月より輸入小麦の政府売渡方式が変更され、国家備蓄が民間へ移行されるなど経営環境は激変し、企業間競争は一層激しさを増してくるものと思われます。

平成22年12月期業績予想につきましては、平成22年2月12日に公表しました業績予想から変更はありませんが、原料価格と製品価格の動向や原料に関する制度変更などの影響などにより、今後の業績に重要な変動が予想される場合には、適時適切に開示いたします。

なお、輸入小麦の政府売渡価格は10月から平均1.0%引き上げられましたが、これに伴う製品価格の改定は平成23年1月4日出荷分より実施予定であり、当期業績への影響はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理については、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理については、該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,392,370	8,591,132
受取手形及び売掛金	2,485,864	3,541,624
有価証券	4,377,496	2,427,488
商品及び製品	776,835	805,675
原材料及び貯蔵品	2,511,671	1,475,144
その他	177,383	188,042
貸倒引当金	△21,198	△20,914
流動資産合計	17,700,423	17,008,193
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,831,223	1,921,531
機械装置及び運搬具(純額)	1,086,431	1,180,306
土地	5,447,580	5,449,720
その他(純額)	168,014	131,748
有形固定資産合計	8,533,250	8,683,306
無形固定資産		
無形固定資産合計	284,743	340,937
投資その他の資産		
投資有価証券	2,061,447	2,166,870
その他	699,018	653,437
貸倒引当金	△104,890	△102,744
投資その他の資産合計	2,655,575	2,717,563
固定資産合計	11,473,570	11,741,808
資産合計	29,173,994	28,750,001
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,610,823	478,688
短期借入金	1,782,400	1,825,500
未払法人税等	192,171	555,617
賞与引当金	85,179	—
役員賞与引当金	26,100	39,100
その他	491,456	1,102,377
流動負債合計	4,188,130	4,001,284
固定負債		
長期借入金	1,232,000	1,493,000
退職給付引当金	344,331	330,847
その他	1,152,096	1,177,311
固定負債合計	2,728,428	3,001,159
負債合計	6,916,558	7,002,443

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,805,266	2,805,266
資本剰余金	2,811,069	2,810,865
利益剰余金	16,442,203	15,930,984
自己株式	△16,264	△21,341
株主資本合計	22,042,275	21,525,775
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	188,194	196,442
評価・換算差額等合計	188,194	196,442
少数株主持分	26,966	25,340
純資産合計	22,257,435	21,747,558
負債純資産合計	29,173,994	28,750,001

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	17,944,039	15,682,092
売上原価	13,646,217	11,833,828
売上総利益	4,297,822	3,848,264
販売費及び一般管理費	2,424,247	2,423,957
営業利益	1,873,574	1,424,306
営業外収益		
受取利息	13,487	8,518
受取配当金	32,083	37,639
固定資産賃貸料	16,570	18,150
その他	24,894	42,119
営業外収益合計	87,036	106,428
営業外費用		
支払利息	36,765	38,244
その他	5,504	3,603
営業外費用合計	42,270	41,847
経常利益	1,918,341	1,488,887
特別利益		
助成金収入	7,228	4,600
貸倒引当金戻入額	996	—
国庫補助金	5,500	3,333
前期損益修正益	1,516	—
特別利益合計	15,241	7,933
特別損失		
固定資産売却損	—	124
固定資産除却損	7,826	2,813
減損損失	3,802	2,697
投資有価証券評価損	25	113,635
貸倒引当金繰入額	—	2,650
特別損失合計	11,654	121,920
税金等調整前四半期純利益	1,921,927	1,374,900
法人税、住民税及び事業税	806,459	581,036
法人税等調整額	△22,855	△4,954
法人税等合計	783,604	576,082
少数株主利益	1,885	1,625
四半期純利益	1,136,438	797,192

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,921,927	1,374,900
減価償却費	380,332	411,055
前期損益修正損益(△は益)	△1,516	—
減損損失	3,802	2,697
のれん償却額	13,174	13,174
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△23,977	2,429
未払賞与の増減額(△は減少)	△11,187	△5,770
賞与引当金の増減額(△は減少)	93,192	85,179
受取利息及び受取配当金	△45,571	△46,158
支払利息	36,765	38,244
受取保険金	—	△9,416
退職給付引当金の増減額(△は減少)	70,769	13,484
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△35,100	△13,000
売上債権の増減額(△は増加)	1,106,336	1,044,320
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,277,662	△1,007,687
仕入債務の増減額(△は減少)	△165,573	1,132,134
有形固定資産除売却損益(△は益)	7,826	2,937
投資有価証券評価損益(△は益)	25	113,635
その他	△26,046	△497,185
小計	4,602,841	2,654,975
利息及び配当金の受取額	46,116	46,190
利息の支払額	△33,694	△37,737
災害による保険金の受取額	—	9,416
法人税等の支払額	△1,430,989	△918,774
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,184,274	1,754,071
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△6	△8
定期預金の預入による支出	△191,813	△98,952
定期預金の払戻による収入	468,621	144,024
有形固定資産の取得による支出	△183,455	△117,783
有形固定資産の売却による収入	—	200
無形固定資産の取得による支出	—	△269,412
投資有価証券の取得による支出	△355,241	△18,420
貸付金の回収による収入	3,247	2,902
その他	△347	△4,319
投資活動によるキャッシュ・フロー	△258,994	△361,768

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	393,000	65,900
短期借入金の返済による支出	△478,500	△49,000
リース債務の返済による支出	△614	△14,781
長期借入れによる収入	950,000	—
長期借入金の返済による支出	△239,500	△321,000
自己株式の取得による支出	△614	△243
自己株式の売却による収入	167,187	5,671
配当金の支払額	△309,298	△282,714
財務活動によるキャッシュ・フロー	481,659	△596,168
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,536	175
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,408,476	796,309
現金及び現金同等物の期首残高	6,916,889	10,764,607
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,325,365	11,560,917

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当社及び連結子会社の事業内容は、食料品部門、飼料部門、その他部門に分類されます。

当第3四半期連結累計期間においては、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める食料品部門の割合が、90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

2. 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間においては、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社が存在しないため、該当事項はありません。

3. 海外売上高

当第3四半期連結累計期間においては、海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。